

同窓会まほろば60年の歩み

- 昭和42年 奈良文化女子短期大学同窓会発足
初代会長池田順子(旧姓池添)氏就任
- 昭和55年 同窓会事務室開設
- 昭和58年 会誌まほろば発刊(現在に至る)
- 昭和59年 母校創立20周年記念
学園ホールに「緞帳」を寄贈
- 昭和59年 学園祭に「こども動物園」を提供
(現在に至る)
- 昭和61年 発足20周年記念式典・祝賀会を開催
- 平成3年 同窓会発足25周年記念
高田キャンパス内に同窓会室を開設
- 平成8年 発足30周年記念式典・祝賀会を開催
- 平成18年 橋本登喜子先生を偲ぶ会を開催
- 平成20年 登美ヶ丘キャンパスに同窓会室を移転
- 平成21年 第三部同窓会を開催(高田キャンパス)
- 平成21年 食物栄養学科同窓会を開催(登美ヶ丘キャンパス)
- 平成22年 福祉学科同窓会を開催
- 平成23年 衛生看護学科同窓会を開催
- 平成23年 九州支部発足
- 平成24年 保育科・初等教育学科同窓会を開催
- 平成24年 京都・福井・兵庫・滋賀支部発足
- 平成25年 教養学科・環境教養学科同窓会を開催
- 平成26年 母校創立50周年記念
「金屏風六曲一双 二台」を寄贈
- 平成26年 奈良文化女子短期大学・
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部
同窓会と名称変更(現在に至る)
- 平成26年 音楽学科同窓会を開催
- 平成27年 幼児教育学科同窓会を開催
- 平成27年 セミナーハウス志賀直哉旧居において
「年満月の茶会」を開催
- 平成28年 発足50周年記念式典祝賀会を開催
- 平成31年 母校閉学 同窓会謝恩パーティを開催
- 令和8年 発足60周年 現在に至る

祝
同窓会発足60周年

同窓会会長 池田 順子

夏空がまぶしい季節となりました。奈良公園いっぱい広がる緑の芝生が、憩いの場として多くの観光客を迎え入れていきます。そして大仏殿への参道の横の広場では、白やピンクの百日紅の花がやさしく微笑み、古の

都を優雅に寿ぎ、訪れる者の心に潤いを与えてくれています。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年、同窓会は、発足60周年を迎えました。この節目の年を迎えるにあたり、同窓生並びに母校関係者の皆様への御礼と祝の会として、記念式典・祝賀会を催す運びとなりました。

学園生活の中で培われた「学び」と、先生方や学友との交わりの中で育まれた「人間性」は、今の私たちの生活の基盤となっています。あらためて、先生方に感謝申し上げます。ご多用とは存じますが、どうか式典並びに祝賀会にご臨席賜りますよう心よりお願い申し上げます。

さて、世の中、社会の変動は目まぐるしく、新しい情報に感動を覚えることがたくさんあります。一方、社会にとっても個人にとっても、生活を脅かす現実に直面することもあります。

皆様方は、それぞれの状況の中で、知恵と工夫を活かし、困難を乗り越えるため、力を尽くされているかと存じます。様々な環境と状況の中で日々を過ごされている皆様、ひととき現実から離れて、ぜひ紅葉で美しい秋の奈良を訪れてください。リニューアルオープンした奈良ホテルで開催する記念式典・祝賀会でお会いしましょう。

先生方や同級生の皆様との歓談の中に、今までの自分の歩みにはない新たな感動、気づき、絆を見出すことができるかもしれません。新たな希望、挑戦に繋がることを願っております。

ご期待に添えるよう意義のある60周年記念式典・祝賀会になるよう役員一同、準備を進めております。皆様のご来会をお待ちしております。

奈良学園のますますのご発展と、先生方、同窓の皆様のご健勝をお祈りし、ご挨拶いたします。



第44号

令和8年8月1日

〒631-8524 奈良県奈良市中登美ヶ丘3-15-1

奈良文化女子短期大学
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部同窓会 まほろば
題字 名誉学長 足立 浩

奈良文化の縁は、ここから始まりました。
開学当時の大和高田市磯野校舎

ご挨拶

学校法人奈良学園 理事長 伊瀬 敏史



同窓生の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。私は理事長9年目となり、学園の発展のため微力ながら日々尽力しています。

さて、このたびは同窓会「まほろば」の60周年、誠におめでとうございます。奈良文化女子短期大学（以下、短大）は昭和40年の開学以来、教養科、保育科、食物栄養学科、初等教育学科、衛生看護学科、音楽学科・同専攻科、福祉学科、環境教養学科、そして奈良学園大学奈良文化女子短期大学部幼児教育学科の各学科において二五・一四八名の卒業生を輩出してきました。皆さんそれぞれに短大に愛着を持っていただいていることと思います。2年間あるいは3年間という短い期間ながら極めて密度の濃い青春の一時期を短大で過ごされたと思います。その陰には先生方の熱心で心のこもったご指導があったのだと思います。短大の流れは奈良学園大学に着実に受け継がれてお

り、人間教育学部人間教育学科乳幼児教育専修で、短大からの先生方はご活躍されています。

奈良学園は短大を皮切りに奈良学園中学校・高等学校、奈良産業大学（現奈良学園大学）、奈良学園幼稚園、奈良学園小学校、奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校と発展を続けてきました。

高田キャンパスでは奈良文化高等学校と衛生看護専攻科で短大の流れを継承した教育を行っており、認定こども園奈良文化幼稚園では短大の旧学園会館も活用しながら0歳児から5歳児までの保育と教育を行っています。短大が起点となつてこのように発展してきたのは同窓生の皆様の応援の賜物であると感じています。皆様の心の中で短大が永遠に燦然と輝き続けることを祈つてやみません。

皆様のご健勝をお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。



登美ヶ丘 1号館

緑豊かな美しいキャンパスを活かして

奈良学園大学 人間教育学部 教授 高岡 昌子



同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は短大での経験を礎に、日々教育と研究に励んでおります。

皆様もご存じのように、登美ヶ丘キャンパスは緑豊かな美しいキャンパスです。しかし、短大閉学から3年後、奈良学園大学人間教育学部が登美ヶ丘キャンパスに移転してきた時には、かつて磯辺先生が中心になつて世話をされていた正門前のコブシやツツジが枯れ、チガヤやヤブカラシなどの雑草がはびこる状態になつてしまっていました。

そこで、学生たちと園芸美化ボランティアサークルを立ち上げ、雑草の除去や花の植栽、立ち枯れた樹木の植え替え、弱った樹木の養生などに取り組み、かつての美しい景観を取り戻そうと活動が続けています。正門前の花壇は水やりが課題でしたが、伊瀬理事長先生のおかげで自動散水装置が整備され、昨年度から人間教育学部1年次

生とともに花を植える活動もしています。また、かつて一号館前にあった花壇を思い出し、二号館裏での花壇整備にも取り組んでいます。校舎内でも、山村悦子先生のとて美しい生け花を思い出しながら、ささやかではありますが季節の花を飾るよう努めております。

さらに、幼・小・中・高・大の教員が連携し、「身近な自然体験が心に及ぼす効果―登美ヶ丘キャンパスの自然を活かして―」をテーマに共同研究を進めています。学会発表に加え、研究をキャンパスづくりにも生かし、魅力向上を目指しています。

また、短大時代に親しまれた「ちびっこ広場」や「つどいの広場」の精神を受け継ぐ「こども子育て講座」という地域貢献活動では、あの懐かしい芋掘り体験を二号館裏の畑で復活させました。

登美ヶ丘キャンパスでは、お子様と楽しめる様々なイベントを企画しております。ぜひご家族でお気軽にお越しください。幸いです。懐かしいキャンパスで、皆様と笑顔で再会できる日を心より楽しみにしております。



花々に彩られる 奈良学園大学 (奈良市中登美ヶ丘)

奈良文化女子短期大学の思い出

元 奈良文化女子短期大学 食物栄養学科 講師
森田 由躬江



奈良文化女子短期大学は、私の教師生活最後の学校ですので本当によい思い出でいっぱいです。

平成7年、当時の植田俊治学長が面接中、伊瀬敏郎理事長の「私学運営の使命感や学生たちへの教育の思い」を述べられ、感動したことなど懐かしいことです。

平成7年に短大に奉職したメンバーで「七、八会」を作り、6年のメンバーも加わり、楽しい食事会など今も続けて心の糧としています。西川彭元学長、吉井先生、前田先生、大森先生、小田先生、岩井先生、杵崎先生、林先生、そして事務局の森村さん、山口さん、池口さんたちとの会は、奈良文化女子短期大学での素晴らしい人との出会いです。

食物栄養学科は、独立した校舎があり、調理実習室は、整然としていて清潔感がありました。

これも先輩の金春隆子先生と中川純子先生の愛と努力の賜物であり大切に守るよう努めました。学生たちへの指導も素晴らしいもので尊敬しながら手本にしていました。当時の学生さんたちも真面目で、熱心に調理実習を楽しみ、美味しい食事をテーブルを囲んでいたことは、ついこの前のことのようにですが、もう20年になるでしょう。助手を務めてくださった食物栄養学科の岡本さん、久保さん、畑中さんには、感謝の一言です。高田キャンパスは、大自然の

「つなぐ」「つなげる」という言葉

奈良文化女子短期大学 名誉教授 坂本 瑞



皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は、昔から、口ずさむ癖があり、それが生活のリズムの一

中にあり、春は高田川の桜の満開の中をよく散策しました。桜見物のあと、「辻甚」や「たいらく」で食事をしたことは、よき思い出です。奈良市から1時間半かけての通勤でしたが、当時、近鉄大和高田駅からスクールバスが教職員を送迎してくださり、幼児教育学科や衛生看護学科の先生方とも和気あいあいと仲良しになれたことも幸せなことでした。現在は、婦人の奉仕活動の間である「国際ソロプチミスト」の一員として女性と女兒の地位向上のために頑張っています。同窓会「まほろば」も60周年とか11月に皆様にお会いできることを何よりも楽しみに待っています。

作曲本多鉄磨さんの「思い出のアルバム」です。皆様もよくご存知かと思いますが、「あんなこと」「こんなこと」あったでしょう。私は、歌詞と問答をして「そんなこと」「どんなこと」と字余りや字足らずをものともせず、歌い、一人大笑いしています。

歌の通りですが、遊びだけでなく学校生活の中でも、昼食、図書館、音楽室、登下校、クラブ活動等、いろいろなことがあったでしょう。

私は本学の学外オリエンテーションを憶えています。大きなはやりの観光バスで短大を出発し、鳥羽からフェリーで伊勢湾を横断、知多半島まで一泊二日の研修に同行しました。バスの中や船の中で初対面に近い同級生と何を話したのか。今は、「あの時はなあ。」と共通の話が懐かしく思い出されることだと思います。

お世話になった実習園には、園長先生、主任先生、たくさんの同窓の先輩方がおられ、快く迎え入れてくださり、ご指導いただきました。

学園祭では、クラス単位で催し物を企画し、熱心に取り組んでいました。何故か、お化け屋敷が多かったのが印象的でした。どこかのクラスが、大きな「猫バス」を作成展示し、私も乗せてもらいました。今頃、ど

こを走っているのか、ちょっと気になります。

人形劇クラブ「クロッペイ」も楽しい思い出です。学外での活動も活発でした。卒業生の紹介で奥熊野に一拍二日の公演にかけました。公演も楽しかったですが、川の温泉に足をつけたりして、大騒ぎでした。

平成7年、阪神淡路大震災があり、慰問公演にも出かけました。青いシートが転々と広がり、ニュースで見っていた風景を目の当たりにし、一同、自然と涙が流れました。

「つなぐ」「つなげる」は、私のように年を重ねると特に大切なことだと感じています。文短で出会った先生方とは、今も続く大切なご縁です。

学歌も大好きです。「大和国原 光あふれて・」皆さんも、ことあるごとに口ずさみ、過ごした時間を懐かしみ、「奈良文化」の「つながり」を大切にしましょう。

これからも、持てる力を十分に発揮して、惜しむことなく活躍してほしいと願うばかりです。皆さんの後ろには、二万五千人をこす同窓生がいると聞いておられます。私は、ずいぶん頼もしい同窓会「まほろば」だなと安心いたしております。今後は重々ご自愛を祈るばかりです。

奈良文化女子短期大学・奈良学園大学奈良文化女子短期大学部

同窓会まほろば発足 60 周年記念式典・祝賀会のご案内

「奈良文化」の縁を紡いで さあ 奈良へ

皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

日時：2026年11月29日(日) 午前11時～午後2時

受付開始：午前10時～



場所：奈良市高畑町 奈良ホテル 大和の間

定 員：100名 先着順、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

参 加 費：10,000円（ゆうちょ銀行振り込み・左ページ参照）

申込受付：2026年8月17日(月)～11月10日(火)

参加費の入金確認後、受付票をお送りさせていただきます。

問い合わせ先：同総会事務室 開室水曜日 10:00～13:00 TEL 0742-47-2260

式典	祝賀会	祝賀会メニュー（例）＜buffet＞ 11,000円
会長挨拶	歓談・食事	・お造り盛り合わせ ・炙りサーモントラウトのサラダ仕立て
来賓挨拶	～余興～	・国産ポークの冷製しゃぶしゃぶ 胡麻ドレッシング
記念演奏	親子ピアノ連弾	・サンドイッチ ・フルーツ盛り合わせ
ひだまりの詩	同窓生社会活動紹介	・グリルチキン マスタードソース ・小海老のチリソース煮
作詞	ピアノ・フルート演奏	・魚のローストプロバンス風 ・焼き鳥 ・冷やし素麺
昭和62年	詩吟	・自家製ミニハンバーグ ・デザート盛り合わせ
音楽学科卒業	歌唱	・シャーベット ・コーヒー
水野 幸代	体操	
	花束贈呈	記念品：菓子・奈良ゆかりの品
	学歌斉唱	受付時にお渡しする名札と交換で、 お帰りのときにお渡しさせていただきます。

同窓会発足 60 周年記念式典・祝賀会 参加申し込みについて

定 員：100 名 締め切り：11 月 10 日（火曜日）

※先着順、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

参 加 費：10,000 円 ゆうちょ銀行の下記口座に振り込み願います。

※振り込み手数料は、振り込み者負担となりますので、ご注意ください。

●ゆうちょ銀行窓口利用の場合：青色「払込取扱票」になります。 料金 203 円

払 込 取 扱 票 口座記号 口座番号 金額 00900-0-275827 ￥10000 加入者名 奈良文化女子短期大学同窓会 通信欄 60 周年記念式典参加費 依頼人 おところ おなまえ (会員番号・在学時氏名)	振替払込請求書兼受領書 00900-0-275827 奈良文化女子短期大学同窓会 金額 ￥10000 依頼人 おなまえ
--	--

●ATM 利用の場合：料金 152 円

同窓会には、依頼人の氏名のみの連絡で、住所の連絡はありません。

受付票送付先住所は、会誌送付先住所となります。

●受付票の送付：入金確認後、受付票（はがき）を送付させていただきます。

住所不明の場合は、受付票をお送りできません。

入金後、2 週間たっても届かない場合は、電話またはメールでお知らせください。

受付票は、当日ご持参ください。

同窓会まほろば 総会のご案内

日時：令和8年9月27日(日)

12:00～13:00

場所：奈良県大和高田市東中

奈良文化高校（高田キャンパス）

1 階会議室

議案：

令和7年度決算報告

令和8年度予算について

発足60周年記念式典・祝賀会について



終了後、ランチ懇親会を開催します。

準備の都合、「友人と〇人出席します」とメールをいただければ幸いです。

e-mail：nwc-mahoroba@nara-su.ac.jp

奈良学園大学 大学祭

日時：令和8年10月18日（日）

10:00～16:00

テーマ：ハンド

～つないだ手から、始まる世界～

同窓会から

「こどもどうぶつえん」を提供します。

皆様、お誘いあわせの上ご来場ください。

同窓会事務室は、10:00～16:00

開室しています。お茶とお菓子で

おしゃべりしましょう。

同窓生からのお便り

教員採用試験合格をめざして

昭和55年初等教育学科卒業

執行(中門) ひろみ



合唱クラブ入部当時

「教員採用試験、合格するまで勉強したら必ず合格します。」

文短一回生の夏間近、学生を前にお話してくださった先生の言葉が私の胸に刺さりました。

それから、私はある作戦を立てました。

① 同じ寮のT先輩から採用試験の勉強の仕方を学ぶ。

② 中学時代のテキストを再び学び直し、ポイントをノートにまとめる。

③ 「教員採用試験問題集」を購入し、全ての問題を解く。必要な法規をすべて覚える。

④ 問題をやって解らなかった所、間違った所をチェックしておく。ベッドに歴史の年表を貼っておき覚える。

⑤ 再び、チェックが入った所をやり直す。問題をすらすら解けるようにする。

以上のことを実行するために寮の学習室で毎日、午後8時から12時まで勉強を続けました。なんとノートは19冊に。二回生になった時、今でも交流がある広島県出身のKさん(後輩)に会いました。二人で同じ夢に向かって勉強した日々、かけがえない思い出です。

『少年老い易く、学成り難し』

四年制大学の学生に比べて勉強時間が少ない短大生。三倍以上勉強しないと採用試験に合格しません。私は、必死でした。努力が実り、採用試験に合格した時、両親は心から喜んでくれました。『ヤッター』

実は、文短時代、合唱部、書道部に入学して活動。家庭教師のアルバイト、臨地講義にも積極的に参加しました。

しかし、後悔することがあります。それは、同じ寮で生活した仲間を大切にしたらどうか。最後になりましたが、現在も小学校講師として特別支援学級の担任をしています。何年たっても子どもたちは、可愛いです。

私にとって文短は大切な思い出の一コマ。感謝しかありません。



昭和53年当時 正門

文短での出会いと学びに感謝

昭和56年初等教育学科卒業

片山 典子



北かつらぎ寮

卒業の日に再会を約束した友と、今年3月、45年ぶりに会い、大和高田の文短跡地を訪れた。桜満開の土手から正門を経てかつらぎ寮へ向かう通りや葛城山からの風は懐かし、思い出話に心から笑い合い、夢のような時を過ごした。

朝夕の点呼や当番、日曜定番のカレーライスと生卵、干した洗濯物が即凍る冬の寒風、励まし合い眠気を我慢して勉強した学習室、互いの故郷の文化を知ることができた寮祭、部屋を行き来し語り合った夜、ありのままの私を受け入れてくれた友との寮生活には常に笑顔があった。誘い合って名利や遺跡へ出かけ、

奈良ならではの楽しみ方もほんの少し経験した。

短大の授業、時間を見つけては通ったピアノ棟、教員採用試験に向けて人生で最も勉強したあの頃は苦しくもあったが、友と一緒に過ごす楽しさの方が勝っていた日々だった。

K子は、モモタマナの新葉が上を向いて大きく開く様から、「いつも心はモモタマナの葉のように前を向こう。」と離任式で話したという。Y子は、新たな目標をもち、資格取得のための勉強を続けているという。C子は国際的なボランティアをしているという。各々の地での今の自分をひたむきに語る友は魅力的で、私も前向きになろうと元気の出る話だった。

思い出の長谷寺まで足を延ばし、45年前と同じ場所同じポーズで写真を撮り、あの時も食べた名物草餅を笑顔で頬張った。45年前の自分に伝えるところから、「文短での学びは、財産になり誇りに思う時が来るよ。共に学んでいる友は、ずっと心の支えになってくれるから大事にね。」

文短で出会った全ての方へ、広島より感謝の思いを込めながら、筆を擱きます。



文短跡地を訪れて (左端)

「大和は国のまほろば 心地よい素敵な場所」

昭和 61 年 音楽学科卒業

水野 幸代



思えば、奈良文化女子短期大学に入学出願先を急遽変えたのは必然だったのかもしれない。高校 3 年生の秋、他の大学教授の下、音楽コースを目指し勉強していました。

故郷は愛媛県上島町弓削、小さな島です。現在の様なネット情報は無く、偶然に手にした音楽大学案内本を何気にめくりました。

その中に緑豊かな山々、島では見ることの無い田んぼに囲まれた「日本最古の首都奈良県（大和高田市）で雅楽を学べる！」という写真に釘付けになりました。

幼少からおばあちゃん子で膝の上で抱っこされ、昔話を聞いたり、民謡を歌ってもらったり、祖母家裏山のお寺の大鐘を撞く響きが好きだったり、古くて懐かしい「それらに導かれたと感じます。」

忘れられない演奏ホールでの

雅楽の授業、心奪われる笙の倍音の心地よさ、その裏では火鉢で温めながらの演奏法。唇が麻痺しそうな大きな音を響かせる小さな筆簫。一見優雅に見える龍笛の息つぎの大変な事。島で育った私にとって初めての出逢いの楽器達。

他にも、琵琶、羯鼓、鮮やかな朱色舞の衣装、凜とした空気と倍音豊かで暖かな音楽は、まるでいにしえへと魂が旅する心地でした。

ここ数年、音楽活動は、持病突発性難聴と向き合いのんびりとギターリスト長谷川純也さんとご一緒。ですがこの 2 年、実家両親の介護で悔いの無いよう、世話を優先し、今年早春に父を見送る事になりました。今回の演奏も空から聴いてくれることでしょうか。

最後になりますが、「同窓会



音楽学科 定期演奏会

発足 60 周年おめでとうございす。」

同じ年生まれとして深いご縁を感じます。そして記念演奏の私のステージラストは「ひだまりの詩」をいっしょに歌いませんか？

恩師、クラス担任でもいらした奈良学園大学名誉教授 青山雅哉先生にピアノ伴奏して頂ける素晴らしい出逢いに感謝して「まほろば」、心地よい素敵な場所皆様に会えますように！

ひだまりの詩

作詞 水野幸代

作曲・編曲 日向敏文

逢えなくなつて どれくらいたつのでしょ

出した手紙も 今朝ポストに舞

い戻つた

窓辺に揺れる 目を覚ました若

葉のよに

長い冬を越え 今ごろ気づくな

んて

どんなに言葉にしても足りない

くらい

あなた愛してくれた すべて包

んでくれた

まるで ひだまりでした

編集後記

「まほろば第 44 号」をお読みいただきありがとうございます。発行にあたり、ご協力いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

6 月初旬、いつか食べて蒔いたビワの木に 30 粒ほど実がなりました。高齢者 25 人で食べました。長生きするよ。

(秀)

卒業して 55 年がたちました。二上山に沈む美しい夕日は、今も変わりません。60 周年是非参加してください。(良)

三輪山の麓で住まいして 50 年。大和平野の美しさを後世に残すために荒地を減らしたいですね。(杉)

卒業して 50 年。元気な今。10 年に一度の式典でみんなと会いたいです。待ってます。(坪)

私の中にある、あの 20 歳のままの皆さんにとっても会いたいです。是非、式典への参加をお待ちしています。(唐)

いつか会えるかな？いつ？これが最後かも？そんな思いから迎える 11 月 29 日です。

「奈良文化」の縁を、紡いでまいりましょう。(枳)

まほろば 60 周年の祝賀会に劇団愛 Family の一員として出演させていただきます。よろしくね。(成)

学校支援ボランティアに登録。ママ達の中にあはがひとり、お仲間に入れていただき感謝です。頑張ります！(祐)

忘れぬ教養科の臨地講義。わくわくの楽しみが今もはつきり記憶に浮かびます。式典で再びお会いしたいです。(幸)

先輩方が文短の礎を創り、後輩たちが引き継いでくれたからこそこの 60 周年なのだと、しみじみと感じています。再会を楽しみにしています。(岡)

天災や物価高に戦争と心が落ちつかない事も多いですが、11 月 29 日の式典が無事に迎えられるように。(牧)

いつも思い出すのは、文短での楽しかった日々。『まほろば』で、また皆様と繋がれる事が、私の宝物です。(藤)

(藤)

フジテレビ系
ドラマ

『ひとつ屋根の下 2』の挿入歌
Le Couple
1997 年のオリ
コン年間ヒット
チャート第 3 位。

令和7年度の同窓会決算及び令和8年度同窓会予算について下記のとおり報告します。

令和7年度 同窓会決算書

(収入の部)

項 目	金 額 (円)	備 考 (円)
前年度繰越金	80,157,393	内訳 定期預金 77,451,515 普通預金 2,705,878
会 費	0	
収 入	0	
利 息	24,290	内訳 定期預金 21,481 普通預金 2,809
合 計	80,181,683	

(支出・資産部)

項 目	金 額 (円)	備 考 (円)
事 務 局 費	674,135	事務局運営費(事務消耗品・役員会旅費他)
事 業 費	586,818	会誌発送作業料・こども動物園提供
備 品 費	0	
通 信 費	1,040,374	会誌発送メール便・切手・電話代他
印 刷 費	221,100	会誌、封筒
光 熱 水 費	0	
慶 弔 費	0	
予 備 費	0	
小 計	2,522,427	
次年度繰越金	77,659,256	内訳 定期預金 77,472,996 普通預金 186,260
合 計	80,181,683	

令和8年度 同窓会予算書

(収入の部)

項 目	金 額 (円)	備 考 (円)
前年度繰越金	77,659,256	内訳 定期預金 77,472,996 普通預金 186,260
会 費	0	
収 入	1,000,000円	発足60周年記念式典・祝賀会参加費 10,000円×100名
利 息	定期預金164,020	利率(年) 0.025% 国税15.315%
合 計	78,823,276	

(支出・資産部)

項 目	金 額 (円)	備 考 (円)
事 務 局 費	800,000	事務局運営費(事務消耗品・役員会旅費他)
事 業 費	6,000,000	発足60周年記念式典・祝賀会 会誌発送作業料・こども動物園提供
備 品 費	0	
通 信 費	1,500,000	会誌送料他・記念式典案内送料
印 刷 費	600,000	封筒・会誌・記念式典関係印刷
光 熱 水 費	0	
慶 弔 費	100,000	
予 備 費	2,000,000	
小 計	10,000,000	
次年度繰越金	67,823,276	
合 計	78,823,276	

奈良文化女子短期大学、奈良学園大学奈良文化女子短期大学部同窓会の令和7年度の経理について監査いたしましたところ、その内容は適切なものと認めます。

令和8年4月1日
会計監査 新谷 初予
会計監査 岡部るり子

会 計 報 告



田村 雅宥先生

令和8年5月3日
ご逝去91歳

平成12年～平成17年 在職
医学一般・病理学・小児保健 担当
平成15年～平成17年
奈良文化女子短期大学 学長

心よりご冥福をお祈り
申し上げます。

証明書の発行について

奈良学園大学HP→卒業生の方へ→
奈良学園大学
奈良文化女子短期大学部
同窓会→証明書の発行について

問い合わせ先
〒631-8524
奈良市中登美ヶ丘3-15-1
奈良学園大学教務課
証明書発行係
電話0742-93-5406

会務報告

令和7年
5月10日 第1回役員会
9月27日 総会・第2回役員会
11月10日 60周年式典・祝賀会
第2回実行委員会
令和8年
3月9日 60周年式典・祝賀会
第3回実行委員会
5月11日 第1回役員会
8月1日 会誌発行

STAFF
EDITORS

池田 順子・櫻井 秀子
赤崎 良子・杉本 昭子
坪井 佳子・枡田 昌子
新谷 初予・岡部 るり子
唐戸 栄子・成瀬 恵美子
牧浦 信恵・西井 祐子
柿本 幸子・藤田 暁音

会誌送付先変更(住所変更)・会誌送付停止の連絡について

*会員番号・卒業年・学科・在学時氏名を郵送又はメールでお知らせください。

様式 奈良学園大学 HP →目的別メニュー→卒業生のかたへ→短大同窓会

郵送先 〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘3-15-1 奈良学園大学内
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部 同窓会まほろば事務局

Email:nwc-mahoroba@nara-su.ac.jp

TEL0742-47-2260 原則 水曜日 10:00～13:00開室